

まちのうごき		
(12月1日現在)	(11月中)	
世帯数 16,560世帯	生まれた人	61人
人口 52,351人	亡くなった人	19人
男 25,710人	転入した人	247人
女 26,641人	転出した人	203人

広報 向日市

No.369

昭和61年1月1日

◎発行 向日市役所(京都府向日市寺戸町中野20)
◎編集 秘書広報課 ◎電話 075(931)1111

躍 動 す る ま ち 向 日 市

迎春



'86

21世紀のまちづくり

新しい歴史に向かって走ろう

京都国体



体操



自転車



市民のみなさん、あけましておめでとう
ございます。

一九八六年の輝かしい新春を、ご家族おそろいで健やかに迎えのことと、心から喜び申し上げます。

昨年は、厳しい財政環境の中にあつて、六十二年京都国体の体操競技会場として、かつ、市民の健康づくりとふれあいの場となる市民体育館やふれあい広場の建設着工をはじめ、学校施設の整備や寺戸コミュニティセンターの開館、文化資料館や図書館等の事業の充実を図るなど、文化的な格調高いまちづくりに向け、諸施策を推進することができました。

特に、中国杭州市と友好交流協議書の調印や米国の姉妹都市サラトガ市との交換学生事業の実施など国際交流が大きく前進しました。これもひとえに、市民のみなさん方のご理解とご支援の賜であると、深く感謝を申し上げます。

今日、わが国の社会情勢は、人口の高齢化、国民の価値観の多様化など、様々な面で成熟化が進み、さらに、国際化、高度情報化社会へと変動しつつあります。

しかも、国、地方を通ずる行財政改革の推進という重要課題を抱え、地方自治体を取りまく環境は、ますます厳しさを増しており、このような中で、本市においては、福祉の後退を許さないためにも、一層効率的な行財政運営と財源確保が要請され、最大限の努力を傾注いたす所存であります。

本年は、私にとって、市長三期目の任期締めくくりにあたり、公約の実現を期すとともに、ふるさと向日市を二十一世紀に向けて、明るい展望が開けるまちづくりを目指し、幹線街路や河川の整備、まちの玄関口である駅前周辺の再開発、上・下水道事業の促進など、市民の住環境基盤の整備を計画的に実施すると同時に、西ノ岡丘陵一帯の自然環境を保全し、緑化の推進を図り、公園や憩いの場を整備いたしたく存じます。

さらに、市民体育館の本年九月完成を契機に、市民スポーツの一層の振興を図り、市民のふれあいを高め、市民参加のまちづくりを目指すとともに、地場産業の育成と活性化に努める所存であります。

私は、二年後に迫った京都国体の成功に向けて、体育施設の整備とともに、向日市国体実行委員会を中心に、市民運動の組織づくりを実施し、市民の総力を結集し、国体の受け入れ準備の万全を期したく存じています。

また、心豊かな文化の香りただようふるさとづくりを目指して、文化資料館、図書館、市民会館、公民館及びコミュニティセンターを文化の核として、歴史と伝統を基盤に市民文化の創造をはかり、市民の教養を高め、生活の向上を期すと同時に、コミュニティ活動の推進をはかる所存であります。

とりわけ、高齢化社会の進行に対処して、高齢者の生きがい高め、在宅福祉の充実をはかるとともに、市民の福祉と健康を守る施策の充実に努めてまいります。

「二十一世紀へ躍動する向日市」のまちづくりに市民のみなさん方の絶大なご支援をお願い申し上げます。本年もみなさん方にとって、幸多い年となることをお祈りして、年頭のあいさつといたします。

向日市長 民部 徳夫